科目名	授業形態	単位数	担当教員名
社会的養護内容	演習	1	人見　禎昭

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ ： 子どもの最善の利益を考え、子どもとその家庭への関わり方を学ぶ。
支援者の立場から、子どもとその家族への自立・自己実現や援助方法を学ぶ。

到達目標 ： 保育士の仕事の幅の広さについて理解を深める。児童福祉施設の種別とそれぞれの施設の特徴を理解する。

【授業の概要】

社会的養護とは何か、児童養護施設などにおける日常生活を知り、より良い支援のあり方を学ぶ。
児童養護施設を中心に、支援者の視点から子どもを取り巻く社会の現状を考える。
テキストや配布資料・事例を用いて、より現実的で具体的に児童福祉を考える。

【全体の授業計画・内容】

1． オリエンテーション　社会的養護施設への入所背景について
2． 社会的養護と子どもの権利について
3． 社会的養護の各施設の特性について
4． 社会的養護と関係機関との連携について
5． 家庭的養護の理解と里親養育・制度について
6． 社会的養護の生活支援と自立支援について
7． 社会的養護のアフターケアについて
8． 社会的養護に関わる専門職に必要な知識と技術
9． 事例①アドミッションケア
10． 事例②インケア
11． 事例③タイムアウト
12． 事例④リービングケア
13． 事例⑤アフターケア
14． 社会的養護の課題と展望
15． まとめ

【準備学習の内容】

予習のあり方：教科書を事前に読み、学びを深める。日頃から、授業に関する情報収集を意識しておくこと。

学習のあり方：積極的に質問するなど、理解をしようとすること。

復習のあり方： ノートや教科書、配布プリントを振り返る。

【成績評価】　平常試験（50%）　受講態度（30%）　提出物など（20%）

【課題（試験・レポート等）に対するフィードバックの方法】

レポート課題に関しては、評価後に学生に返却しフィードバックを行う。その他、学生からの要望があれば適宜必要に応じてフィードバックを行う。

【テキスト】　安藤和彦・石田慎二・山川宏和編『社会的養護内容演習』建帛社

【参考文献】　適宜紹介する